

【湯河原町 教育の重点】

- ① 「生きる力」の育成
- ② 信頼される学校づくり
- ③ 安全・安心な学校づくり
- ④ 思いやりや地球環境を大切にする心の育成
- ⑤ 人権教育・人権啓発の推進

【湯河原中学校職員集団 指導の重点】

- ① 生徒に「よりそう」
- ② 生徒を「みまもる」
- ③ 生徒と「かたりあう」
- ④ 生徒の成長・変化に「きづく」
- ⑤ 生徒をほめて育てる「讃（さん）」

学校教育目標

豊かな感性と確かな学力を持ち、生涯を通じてたくましく生きる生徒の育成

日々前進・日々努力

生徒・保護者・地域の方々ならびに教職員が誇れる学校 「湯河原中 PRIDE」

豊かな感性の育成

生きる力の育成

- 湯河原町を愛する心
- お互いを思い合う心
- 自ら考えて行動する力
- あいさつの定着
 - ・職員による率先垂範
- AI に負けない人間力
 - ・コミュニケーション能力の育成

豊かな人間性の育成

- いじめの未然防止
- 人権感覚の育成
- SST、ACT (アート・コミュニケーション・トレーニング) の推進
- 行事等の振り返りの重視
- 生徒指導・教育相談の充実
- 自己有用感・自己肯定感の育成

確かな学力の習得

授業改善の推進

- 校内研究の充実・発展
 - ・考える学力への一層の推進
 - ・学び方を習得させる学習指導の充実
 - ・学習用端末活用の工夫改善
- 指導と評価の一体化
 - ・適切な評価評定の実現

個別最適な学習指導

- 基礎・基本の定着
 - ・TT・少人数授業の充実
 - ・取り出し個別支援の推進
- 家庭学習の習慣化
 - ・自主学習の推進
 - ・学習用端末の有効活用
- 読書及び図書室利用の活性化

信頼される学校づくり

地域・保護者との連携

- 地域へ『行ったり来たり』
 - ・PTA 活動とボランティア活動の活性化
 - ・地域行事への効果的参加
 - ・授業参観等の充実
 - ・ホームページ等の充実

特色ある学校づくり

- 対話を重視した寄り添う生徒支援の確立
 - ・ハートフルの充実
- 不登校の生徒への丁寧な対応
 - ・サポートルームの活用
 - ・学習用端末の活用の充実
- 一町一中ならではの地域とのつながり

学校評価を活用した、よりよい学校づくり

今年度の経営重点

- 生徒・保護者ならびに来校されるすべての方々に心から寄り添うために丁寧な言葉遣いや言葉選びを意識することで、あたたかい信頼関係を築き、誇れる（自慢できる）学校をめざす。
- 基礎・基本を重視した、わかりやすく、生徒自らが考えたいくなる授業づくりに努め、主体的に学ぶことができる生徒を育てる。
- 生徒の話を真摯に聴き「認める」ことからはじめ、「自己有用感」を育み、社会性の基礎が身につくようにする。